



新しい朝

府中市立府中第十中学校
学校だより No. 1
校長 伊藤 淳
令和 7年4月30日

「出会いをつなぐ春、はじまりの一步」

校長 伊藤 淳

春のあたたかな日差しとともに、令和7年度が始まりました。新しい学年、新しい仲間、そして新しく着任された先生方・職員の方との新たな1年のスタートです。校舎の中に響く元気な声や前向きな表情を見ていると「きっと素敵な1年になる」と感じさせてくれます。

4月は「出会い」の季節です。新しいクラス、新しい先生、新しい仲間との出会いがあります。そして、私自身にとっても、十中の教職員の皆さんや生徒の皆さんとの出会いは大きな喜びであり、楽しみでもありました。4月は1年にたった一度しかない「出会いの月」。この出会いを、ぜひ大切にしてほしいと願っています。

「出会いを大切にする」とは、ただ仲良くするというだけではありません。出会った相手のことを思いやり、その人の気持ちに寄り添おうとする姿勢こそが、出会いを



「いい出会い」に育てる第一歩です。相手の立場に立って考えること、違いを受け入れようとする事、そして自分の言葉や行動が相手にどう伝わるかを意識すること。それらを積み重ねていくことで「ただの出会い」が「かけがえのないつながり」へと変わっていきます。

この1年間、皆さんは様々な活動に取り組んでいきます。授業や部活動、学校行事、地域との関わりなど、たくさんの場面で自分を試す機会があるでしょう。そのすべての経験が、皆さんの未来を形づくる大切なピースになります。今の自分にできることを一つひとつ丁寧に、前向きに取り組んでほしいと思います。そして、1年後、「この1年で大きく成長したな」「あのとき頑張ってたよ良かったな」と思える自分に出会ってほしいのです。その未来の姿をイメージして、そこに近づくために努力を重ねる1年にしていきましょう。

中学校生活は、一人では決して成し遂げることができません。仲間や先生、家族、地域の方々など、多くの人との関わりの中で、支え合い、助け合いながら進んでいくものです。だからこそ、人とのつながりを大切に、温かな関係を築くことが、自分自身の成長にもつながっていくのです。一人ひとりが、目標に向かって努力し、仲間と協力して充実した学校生活を送ることが、十中全体の未来にもつながっていきます。新しい1年の始まりにあたって、どんな1年にしたいのか、どんな自分になりたいのか、ぜひ思い描いてみてください。そして、その思いを実現するために、一歩ずつ歩み出していきましょう。

この1年間が、皆さんにとって実り多きものになるよう、先生方・職員の皆さんで、力を合わせて支えています。ともに成長し、「信頼・温もり・笑顔」のある素敵な十中をつくっていきましょう。

【サポートルームについて】

府中市では、不登校児童・生徒等への支援の一環として、各学校において、校内で別室指導を受けることができるように「サポートルーム」を設置しています。設置目的は次の2点です。

(1) 不登校の未然防止として

さまざまな理由から教室に入りづらさを感じている生徒に対して、サポートルームを活用し、居場所づくり等を行い、欠席の長期化を防ぎます。

(2) 不登校生徒の学校復帰のために

不登校状態が続いている生徒に対して、サポートルームへの登校から始め、学級での授業に少しずつ参加してみるなど、徐々に学校へ登校するきっかけづくりとします。

本校では、月曜日から金曜日までの9:00~14:00、サポートルームの支援員が配置されています。また、学習については自学自習が基本となっています。サポートルーム利用の希望がある場合は、担任までお申し出ください。

【学校と生徒を支援する巡回教員について】

今年度より、市立中学校に様々な場面で学校と生徒を支援する巡回教員が配置されています。巡回教員は、生徒一人一人が、「学校が楽しい」「学校に通いたい」と思えるような魅力ある学校づくりに向けて校内体制を整えることや、学校及び教室に通いづらさを感じている生徒の居場所づくりを行うなど、幅広く支援を行います。

本校は巡回校となり、拠点校の府中第八中学校より巡回教員が来ることとなります。